D

令和６年度　第１次試験問題

運営管理（オペレーション・マネジメント）

１日目　15：40～17：10

＊試験開始前に、以下の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末などの通信機器・電子機器類は、机上に置くことも、身に着ける（ポケット等に入れる）ことも、使用することもできません。このことが試験時間中に守られていない場合は、不正行為として対処します。試験開始前に、必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。
スマートウオッチやスマートグラス、イヤホンなどの取り扱いも同様です。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。合図の前に問題用紙を開いた場合は、不正行為として対処します。
2. マークシートについての注意事項は、次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HB または B の鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	⊘	⊗	⊙	○ うすい

(2) 解答は選択肢（解答群）から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後 30 分間および試験終了前 5 分間は退室できません。（下記参照）
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。マークや記入、修正をした場合は、不正行為として対処します。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで、席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞
試験開始 30 分後から終了 5 分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて提出してください。
問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後 20 分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失などについては責を負いませんのでご承知おきください。

（途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。）

受験番号：

D

第 1 問

生産形態に関する記述と用語の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　多様な顧客ニーズに合わせた製品を効率的かつ低価格で大量に生産する。

b　製品を品種ごとにまとめて、複数の品種を交互に生産する。

c　あらかじめ用意した複数種類の部品を組み合わせて、受注後に多様な製品を生産する。

d　発注元のブランドとして販売される製品の製造機能を請け負って生産する。

〔解答群〕

ア　a：OEM　　b：マスカスタマイゼーション
　　c：モジュール生産　　d：ロット生産

イ　a：マスカスタマイゼーション　　b：モジュール生産
　　c：ロット生産　　d：OEM

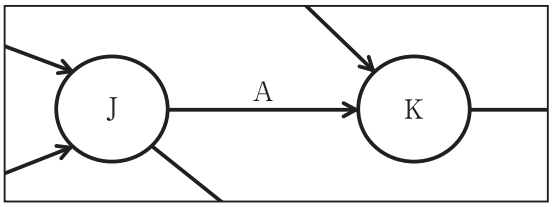
ウ　a：マスカスタマイゼーション　　b：ロット生産
　　c：モジュール生産　　d：OEM

エ　a：モジュール生産　　b：OEM
　　c：マスカスタマイゼーション　　d：ロット生産

オ　a：モジュール生産　　b：ロット生産
　　c：OEM　　d：マスカスタマイゼーション

第 2 問

下図は、あるプロジェクトにおける PERT 図の一部を切り出した図である。作業Aの作業時間は 3 日であり、作業Aはクリティカルパス上にある。PERT 計算に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　作業Aの作業時間が 2 日増えると、クリティカルパスは変わることがある。

b　作業Aの作業時間が 2 日減ると、クリティカルパスは変わることがある。

c　結合点 J の最早結合点時刻が 2 日遅れると、全体のプロジェクト完了までの期間が必ず 2 日長くなる。

d　結合点 J の最早結合点時刻が 2 日早まると、全体のプロジェクト完了までの期間が必ず 2 日短くなる。

e　結合点Kの最遅結合点時刻が 2 日遅れると、全体のプロジェクト完了までの期間が必ず 2 日長くなる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤　e：誤

イ　a：正　b：正　c：誤　d：正　e：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正　d：誤　e：誤

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤　e：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正　e：正

第 3 問

進捗管理や現品管理に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　製品のトレーサビリティを高めるために、材料の調達から製品の廃棄までのサプライチェーンにおいて情報共有の仕組みを用いた。

b　後工程引き取り方式による生産を、「運搬指示かんばん」と「引き取りかんばん」を用いて実現した。

c　作業者や管理者が工程の状況を把握するために、目で見る管理として「あんどん」を用いた。

d　仕掛品の流れを管理するために、製造番号、品名、納期などが登録された RFID を用いた。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：正　c：誤　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正　d：正

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

第 4 問

3 工程直列型生産ラインにおけるライン編成を下記に示す。この編成に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、ライン生産は、最も効率が良い状態で運用されるものとする。

【ライン編成】

・第 1 工程は、作業時間 4 分の作業Aと、作業時間 6 分の作業Bで構成されている。
・第 2 工程は、作業時間 3 分の作業Cと、作業時間 4 分の作業Dで構成されている。
・第 3 工程は、作業時間 2 分の作業Eと、作業時間 7 分の作業Fで構成されている。

〔解答群〕

ア　サイクルタイムは、26 分である。

イ　作業Cの作業時間が 2 分長くなると、生産ラインのスループットは減少する。

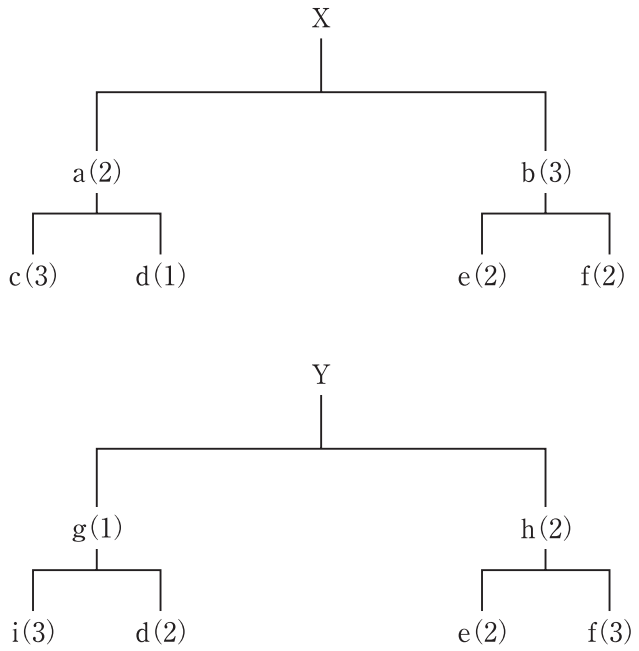
ウ　作業Fの作業時間が 6 分になると、サイクルタイムは短縮される。

エ　生産ラインの編成効率は、80 % である。

オ　第 1 工程と第 2 工程で作業Aと作業Cが交換できれば、サイクルタイムは短縮される。

第5問

下図は、最終製品ＸとＹの部品表であり、（　）内は親品目1個に対して必要な部品の個数である。製品ＸとＹを2個ずつ生産するときの必要部品数量に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　部品aは2個必要である。

イ　部品dは6個必要である。

ウ　部品iは8個必要である。

エ　部品共通化により部品hが部品bで代替された場合、部品bは10個必要である。

オ　部品共通化により部品iが部品cで代替された場合、部品cは15個必要である。

第 6 問

標準時間の設定に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　MTM 法では、移動動作と終局動作を組み合わせた 1 つのモジュールとして作業者の動作を分析し、標準時間を設定する。

イ　経験見積り法では、精度を高めるために、作業経験が豊富な熟練者を観測対象として標準時間を設定する。

ウ　実績資料法では、作業の実績記録を基にした時間資料を用い、作業の難易度を考慮して標準時間を設定する。

エ　標準時間資料法では、作業時間と変動要因との関係を、数式、図、表などにまとめたものを用いて標準時間を設定する。

オ　標準時間を設定する際に考慮される余裕は、作業余裕と用達余裕からなる管理余裕と、職場余裕と疲労余裕からなる人的余裕によって構成される。

第 7 問

次の文章を読んで、下記の設問に答えよ。

ある工場では、長さの規格の上限値が 11.80 mm、下限値が 10.00 mm の部品を製造しているが、製造工程の工程能力指数 Cp（両側規格の場合の工程能力指数）を計算したところ、1.0 であることが分かった。工場では、この部品を利用する製品の性能を安定させるために、長さの規格の上限値を 11.60 mm、下限値を 10.16 mm に変更したいと考えている。

（設問 1）

現在の工程能力（部品の長さの標準偏差）の下で、長さの規格の上限値と下限値を変更したときの工程能力指数 Cp の値として、最も適切なものはどれか。

ア　0.6
イ　0.7
ウ　0.8
エ　0.9
オ　1.0

（設問 2）

長さの規格の上限値と下限値を変更したとき、工程能力指数 Cp を 1.2 に向上させるための施策として、最も適切なものはどれか。

ア　部品の長さの平均値 μ を 10.52 mm に調整する。
イ　部品の長さの平均値 μ を 10.88 mm に調整する。
ウ　部品の長さの標準偏差 σ を 0.20 に改善する。
エ　部品の長さの標準偏差 σ を 0.25 に改善する。

第 8 問

設備管理に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　設備の故障は、①設備が規定の機能を失った状態と、②設備による産出物または作用が規定の品質レベルに達しなくなった状態、の 2 つに分類される。

b　設備総合効率は、時間稼働率、故障強度率、良品率の積として計算される。

c　保全活動は、予防保全と事後保全からなる維持活動と、改良保全と保全予防からなる改善活動から構成される。

d　設備の 7 大ロスには、設備の段取・調整ロスと刃具交換ロスが含まれる。

e　設備の可用率は、MTTR を MTBF と MTTR の和で除した値として求められる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤　e：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤　e：誤

ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正　e：正

エ　a：誤　b：誤　c：正　d：正　e：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正　e：誤

第 9 問

ある製品を製造するための設備の候補として、生産能力が異なる設備ＡとＢがある。それぞれの設備の生産能力、製造固定費、製造変動費単価は下表のとおりである。この 2 つの設備の製品需要量に関する優劣分岐点 Q_{AB}(個／年)として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

ただし、製品の販売単価は 500 円／個とする。解答に際しては、製品の需要量が生産能力を超えた場合には売り逃しが生じることに注意すること。

	生産能力	年間の製造固定費	製造変動費単価
設備Ａ	26,000 個／年	500 万円／年	250 円／個
設備Ｂ	35,000 個／年	950 万円／年	100 円／個

〔解答群〕

ア　$Q_{AB} < 25{,}000$

イ　$25{,}000 \leqq Q_{AB} < 30{,}000$

ウ　$30{,}000 \leqq Q_{AB} < 35{,}000$

エ　$35{,}000 \leqq Q_{AB} < 40{,}000$

オ　$40{,}000 \leqq Q_{AB}$

第10問

生産システムの管理方式に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　オーダエントリー方式では、顧客が要求した納期どおりに生産するために、受注したオーダを製造設備の使用日程や資材の所要予定などに割り付けて生産する。

b　JIT 生産方式では、全ての工程があらかじめ作成された生産計画に従って、必要な物を、必要なときに、必要な量だけ生産する。

c　生産座席予約方式では、生産工程において生産中の製品に顧客のオーダを引き当て、顧客の要求に応じて生産中の製品仕様の選択や変更を行う。

d　製番管理方式では、製造命令書において、対象製品に関する全ての加工および組み立ての指示書を準備し、同一の製造番号を付けて管理する。

e　VMI(Vender Managed Inventory)では、顧客の在庫、出荷、販売などの情報を納入業者と共有することで、納入業者が供給して顧客の資産となった在庫を管理する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤　e：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤　e：誤

ウ　a：誤　b：正　c：正　d：正　e：誤

エ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正　e：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正　e：誤

第11問

設備レイアウトに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　工程別レイアウトでは、各製品はそれぞれの加工順序に従って工程を移動するので、一般に各製品の進捗管理が容易である。

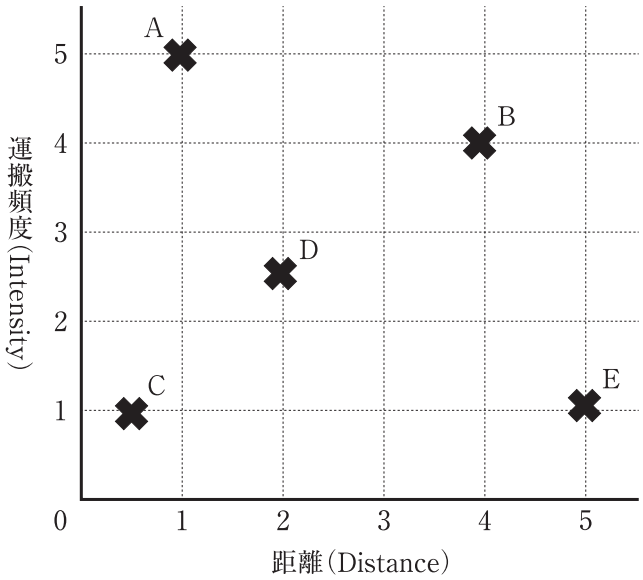
イ　製品別レイアウトでは、製品を製造する流れに沿って設備を配置し、各設備は一定期間同じ製品を加工するので、一般に自動化が容易である。

ウ　製品別レイアウトを採用すると、工程別レイアウトを採用する場合に比べて、一般に製品が完成するまでに必要な運搬距離が長くなる。

エ　多品種を扱う職場において工程別レイアウトを採用すると、製品別レイアウトを採用する場合に比べて、一般に各設備の稼働率は低くなる。

第12問

ある職場の DI 分析を行った結果を下図に示す。この図から読み取ることができる改善施策として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　優先的に改善すべき対象は運搬工程Ａであり、巡回経路を決めて定期的に運搬するといった間接運搬システムの導入を検討する。

イ　優先的に改善すべき対象は運搬工程Ｂであり、運搬頻度を少なくするか、または運搬距離が短くなるようにレイアウトの改善を検討する。

ウ　優先的に改善すべき対象は運搬工程Ｃであり、運搬頻度を少なくするか、または運搬距離が短くなるようにレイアウトの改善を検討する。

エ　優先的に改善すべき対象は運搬工程Ｅであり、コンベアで結ぶといった直接運搬システムの導入を検討する。

第13問

資材管理に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　MRP を活用すれば、調達すべき部品の仕様の検討や変更を効果的に行うことができる。

b　資材管理は、必要な資材の量・質などを定めた製品情報と生産計画を基に行われる。

c　資材管理を適切に行った結果として資材の在庫量が減ると、資材の棚卸資産回転率が高くなり、運転資金が増えてキャッシュフローが改善される。

d　資材の納品が納入予定に対して早過ぎる場合には問題は発生しないが、遅れた場合にはライン停止などの大きな損害が発生する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：正　c：誤　d：正

ウ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

第14問

外注管理に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　外注依存度の高い企業は、一般的に広範囲にわたって高い技術力を持つ企業であり、自社の技術力が不足気味の企業では、外注依存度は必然的に低くなる。

b　外注部品の納期遅れ対策としては、自社の MES（Manufacturing Execution System）を外注先にも組み込むことが望ましいが、それが難しい場合には納期日別に納期確認するカムアップシステムの適用が有効である。

c　外注先に対して、どのような長期的方針の下に外注を依頼しているかを明確にすることによって、積極的な連携が可能となり、外注先の品質の向上やコストの低減が期待できる。

d　自社が特殊な生産技術を持っている部品については、その優位性を維持するために、コスト削減が期待できる外注先を選択することが望まれる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

第15問

在庫管理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　ABC 分析の結果としてＣに分類された部品に定期発注方式を導入することによって、発注の手間を省いた。

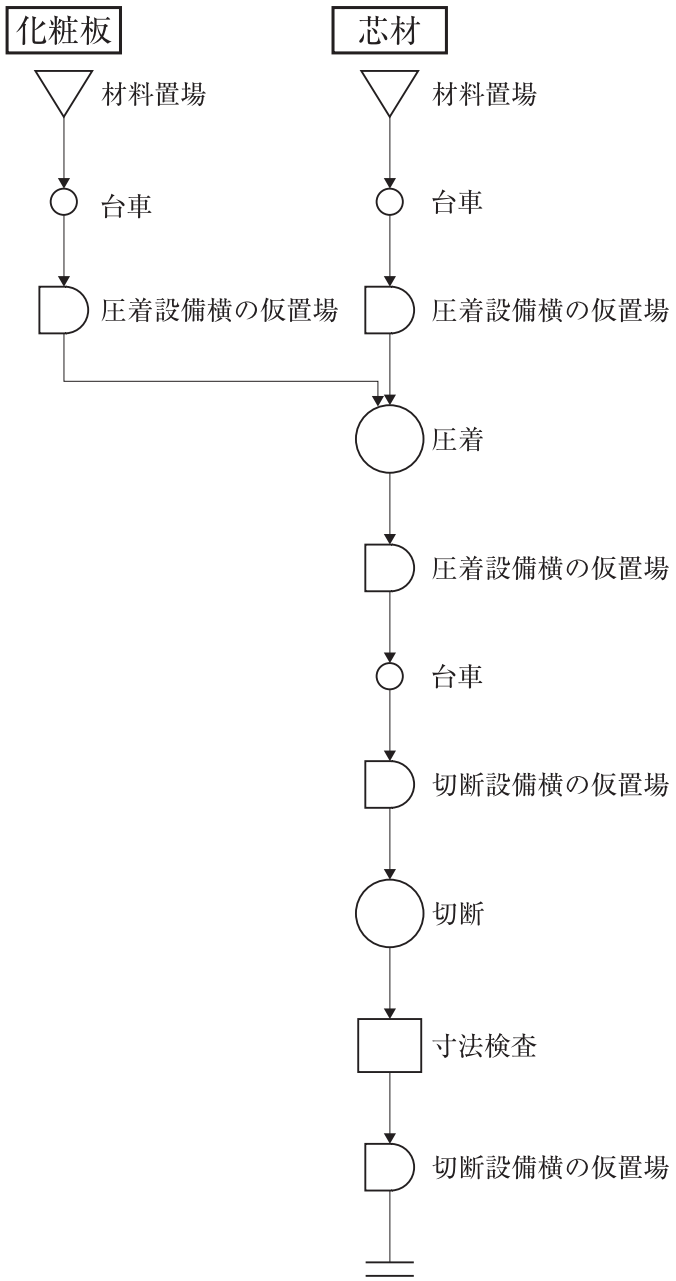
イ　原材料の在庫を多くすることによって、製造工程における突発的な設備故障による製品の納期遅れを回避した。

ウ　作業時間の変動が大きい工程の前で生産ラインを前後に分割して、工程間在庫を置くことによって、ライン全体の稼働率を改善した。

エ　調達リードタイムが不安定な部品を発注点方式で管理する場合に、発注点を小さくすることで欠品の発生頻度を削減した。

第16問

ある製品について工程分析を行った結果を下図に示す。この図から読み取ることができる改善施策として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　圧着設備横と切断設備横の仮置場に置く部品量を減らすために、圧着設備と切断設備を近づけるようにレイアウトを変更する。

イ　圧着と切断の間に停滞する部品量を減らすために、切断設備の処理能力を上げる。

ウ　材料置場から圧着設備までの運搬をなくすために、自動搬送車を導入する。

エ　寸法検査後の停滞をなくすために、検査時間を短縮する。

第17問

マテリアルハンドリングに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　運搬活性分析を行うことにより、各工程への材料供給の際に生じる空運搬を顕在化することができる。

イ　製品をユニットロードにすると、運搬や保管の効率化を図ることが期待できる。

ウ　パレット積みされているものを車上置きにする場合より、バラ置きされているものを箱入りにする場合の方が活性示数の増加幅が大きく、改善効果が高い。

エ　流通過程の倉庫や物流センターにおいて行う、製品の値札付けや電子機器のセッティングの作業は荷役作業である。

第18問

ある工程では月間1,000個の部品を加工しているが、そのうち5％が不適合品として廃棄されている。この部品の販売価格は2,000円、変動費率60％で、不適合品1個当たりの廃棄費用は700円かかっている。

この部品には十分な需要があり、不適合品は全て手直しを行って良品として販売できることが分かったので、新たに手直しをする作業者を雇うことを検討している。新たに雇う作業者の月間の人件費がいくら未満であれば採算的に見合うか。以下の選択肢から最も適切なものを選べ。ただし、不適合品の手直しにおける追加費用は新たに雇う作業者の人件費のみで、材料費などのその他の費用は発生しないものとする。

ア　60,000円

イ　75,000円

ウ　95,000円

エ　135,000円

第19問

ある設備の加工速度を向上させるために設備改良を行った。改良後、100 個加工を行って 1 個当たりの平均速度を求めると 9.75、標準偏差 1.0 であった。改良前の平均速度は 10、標準偏差 1.0 であったとき、加工速度が向上したかどうかを統計的に検定する際の記述として、最も適切なものはどれか。

ア　帰無仮説：$\mu = 9.75$、対立仮説：$\mu \neq 9.75$ として、t 検定を用いる。

イ　帰無仮説：$\mu = 9.75$、対立仮説：$\mu \neq 9.75$ として、z 検定を用いる。

ウ　帰無仮説：$\mu = 10$、対立仮説：$\mu < 10$ として、χ^2 検定を用いる。

エ　帰無仮説：$\mu = 10$、対立仮説：$\mu < 10$ として、z 検定を用いる。

第20問

環境配慮型生産に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　１つの製品が原材料から生産されて誕生し、使用され、廃棄されるまでの製品のライフサイクルを把握した。

b　製品の原材料の採取から、製造、使用及び処分に至るまでの環境負荷を総合的に評価するためにサーキュラーエコノミーを行った。

c　温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させたライフサイクルアセスメントを実施した。

d　製品の原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでに排出された温室効果ガス排出量を CO_2 排出量に換算して、カーボンフットプリントを算定した。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

第21問

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく産業廃棄物に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　産業廃棄物は 20 種類が定義されているが、排出量が基準値以下の場合は、この法律が適用されない。

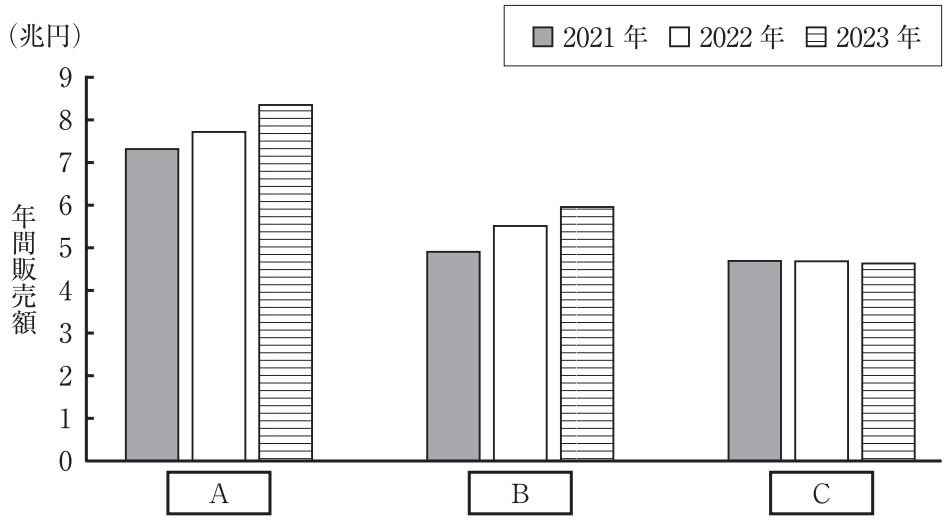
イ　事業者が排出した産業廃棄物の運搬または処分を別の業者に委託する場合には、産業廃棄物管理票を委託する業者に交付することが義務付けられている。

ウ　製紙工場から排出される紙くずと飲食店などから排出される紙くずは、同じ一般廃棄物である。

エ　排出した産業廃棄物を排出事業者自らが適切に処理できる場所まで運搬する場合でも、管轄の都道府県に申し出て専用の許可を得なければならない。

第22問

以下のグラフは、経済産業省の商業動態統計における小売業の業態別の年間販売額推移を示している。グラフ内の空欄Ａ～Ｃに入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア	Ａ：スーパー	Ｂ：コンビニエンスストア	Ｃ：百貨店
イ	Ａ：スーパー	Ｂ：百貨店	Ｃ：ドラッグストア
ウ	Ａ：ドラッグストア	Ｂ：コンビニエンスストア	Ｃ：百貨店
エ	Ａ：ドラッグストア	Ｂ：スーパー	Ｃ：家電大型専門店
オ	Ａ：ドラッグストア	Ｂ：百貨店	Ｃ：家電大型専門店

第23問

都市計画法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　市街化区域とは、すでに市街地を形成している区域およびおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域である。

イ　市街化調整区域とは、いわゆる白地地域内で用途地域が定められていない区域である。

ウ　特定用途制限地域は、区域区分が定められていない都市計画区域内に定めることができない。

エ　特別用途地区は、商業地域の地区内に定めることができない。

オ　都市計画区域は、都道府県都市計画審議会の意見に基づいて、市区町村が指定することができる。

第24問

屋外広告物法に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　都道府県は条例で定めることによって、第一種低層住居専用地域における屋外広告物の設置を禁止することができる。

b　条例に違反している立看板が、管理されずに放置されていることが明らかなときであっても、設置者の許可がなければ都道府県知事はその立看板を撤去することはできない。

c　常時屋外で公衆に表示されたはり紙は、屋外広告物に該当しない。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：誤　c：正

第25問

食品リサイクル法およびその基本方針に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　飲食店において食用に供されずに廃棄された食品は、食品廃棄物等に該当しない。

イ　食品循環資源の再生利用等は、飼料化よりも肥料化が優先される。

ウ　食品の製造、加工または調理の過程において副次的に得られた物品のうち食用に供することができないものは、食品廃棄物等に該当する。

エ　食品廃棄物等の再生利用等は、肥料化よりも熱回収が優先される。

オ　食品リサイクル法は食品関連事業者を対象とした取り組みを定めたものであり、基本方針において消費者の役割は明記されていない。

第26問

近年、さまざまな業界において電子商取引(EC)市場の重要性は高まっている。経済産業省が公表している「令和4年度電子商取引に関する市場調査報告書」における2022年の日本のEC市場に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　BtoC-EC市場における市場規模は、物販系分野よりもサービス系分野の方が大きい。

イ　CtoC-EC市場規模はBtoC-EC市場規模よりも大きい。

ウ　物販系分野のBtoC-EC市場におけるEC化率は、「衣類・服飾雑貨等」よりも「書籍、映像・音楽ソフト」の方が高い。

エ　物販系分野のBtoC-EC市場における市場規模は、「食品、飲料、酒類」よりも「化粧品、医薬品」の方が大きい。

第27問

下表は、４つの店舗における、ある期間の売上高、粗利高、従業員数、総作業時間をまとめたものである。各店舗で作業を効率化するためのシステムを導入し、１人当たりの作業時間を変えずに従業員を１人ずつ減らした場合、売上高と粗利高が変わらないとすると、システム導入前と比べて人時生産性で最も改善額が大きい店舗を下記の解答群から選べ。なお、ここで人時生産性は粗利高で算出するものとする。

	店舗Ａ	店舗Ｂ	店舗Ｃ	店舗Ｄ
売上高(万円)	360	400	400	360
粗利高(万円)	144	180	144	144
従業員数(人)	4	4	4	5
総作業時間(時間)	480	480	600	600

〔解答群〕

ア　店舗Ａ

イ　店舗Ｂ

ウ　店舗Ｃ

エ　店舗Ｄ

第28問

下表は、価格政策が異なるA店とB店における、ある同じ商品の日別売上をまとめたものである。この2店の価格政策を理解したうえで、以下の記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。なお、表に記載のない商品や期間などについては考慮しないものとする。

	A店		B店	
販売日	販売数量（点）	売価（円）	販売数量（点）	売価（円）
4月1日	2	250	5	190
4月2日	0	250	4	190
4月3日	3	250	6	190
4月4日	3	250	5	190
4月5日	3	250	4	190
4月6日	25	125	8	190
4月7日	0	250	6	190
4月8日	0	250	8	190
4月9日	1	250	7	190
4月10日	3	250	5	190
4月11日	0	250	6	190
4月12日	12	150	4	190
4月13日	2	250	8	190
4月14日	2	250	8	190

a　B店のような価格政策をEDLP政策という。

b　いずれの店の価格政策でも、低い値引率で集客できる商品をロスリーダーという。

c　チラシ特売を用いて集客することは、B店よりもA店の価格政策が向いている。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：誤

イ　a：正　　b：誤　　c：正

ウ　a：誤　　b：正　　c：正

エ　a：誤　　b：正　　c：誤

オ　a：誤　　b：誤　　c：正

第29問

消費者の商品購買行動は、計画購買と非計画購買に区分することができる。このうち、非計画購買に関して、以下の説明文と非計画購買の種類の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

［説明文］

a　POP を見て、初めて見た商品に希少性を感じて購入すること。

b　値引きされた商品を「安いから」という理由で購入すること。

［非計画購買の種類］

①　想起購買

②　関連購買

③　条件購買

④　衝動購買

〔解答群〕

ア　aと①

イ　aと②

ウ　bと①

エ　bと③

オ　bと④

第30問

近年は、消費者の節約意識や環境意識の高まりを背景にリユース市場が拡大している。インターネットオークションやフリマアプリなどでは個人間売買が中心であるが、事業として中古品を買い取って販売する際などには、古物営業法で定められた営業の許可(古物商許可)が必要になる。この古物商許可に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　委託を受けて中古品を売買する場合には、古物商許可が必要である。
イ　営業所を持たず、インターネットを用いて転売目的で中古品を売買する場合には、古物商許可は不要である。
ウ　古物商許可を得るには、営業所を管轄する税務署に申請する必要がある。
エ　中古品を買い取ってレンタルする場合、古物商許可は不要である。

第31問

下表は、ある雑貨店の販売実績などを商品分類別にまとめたもので、売上高、粗利率、平均在庫額(売価ベース)が記載されている。この表に記載された商品分類の中で、最も交差比率が低い分類を下記の解答群から選べ。

	売上高 (万円)	粗利率 (%)	平均在庫額 (万円)
商品分類1	180	30.0	30
商品分類2	100	25.0	50
商品分類3	240	10.0	24
商品分類4	80	40.0	10
商品分類5	400	20.0	40

〔解答群〕

ア　商品分類1

イ　商品分類2

ウ　商品分類3

エ　商品分類4

オ　商品分類5

第32問

VMD における 3 つの基本的な要素のうち、IP(Item Presentation)の目的と具体的な手法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　売場全体のコンセプトを視覚的に表現するために、大型のプロップスを用いる。
イ　売場に立ち寄った顧客が商品を選びやすくするために、フェイスアウトでハンガー陳列する。
ウ　売場のテーマを演出するために、マネキンを用いて関連商品をディスプレイする。
エ　特定の売場への立ち寄りを増やすために、POP などを用いて季節感を演出する。
オ　劣位置の売場への立ち寄りを促すために、商品を山積みしてボリューム感を演出する。

第33問

小売店舗における在庫管理に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　定期発注方式を採用している場合、発注から納品までの調達期間のみを変更して長くすると、発注量を減らすことができる。
イ　定期発注方式を採用している場合、発注間隔のみを変更して長くすると、安全在庫を減らすことができる。
ウ　定量発注方式を採用している場合、安全在庫のみを変更して増やすと、発注点は低くなる。
エ　定量発注方式を採用している場合、発注点のみを変更して高くすると、発注から納品までの調達期間を長くすることができる。
オ　定量発注方式を採用している場合、発注量のみを変更して増やすと、発注点に基づく発注間隔は長くなる。

第34問

ある商品の需要予測量を、移動平均法(過去3期の平均)と指数平滑法(平滑化係数＝0.8)によってt期(当期)まで計算した結果、下表のとおりとなった。この条件に基づいて計算するt+1期(翌期)の需要予測量に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

(単位：個)

	t−4期	t−3期	t−2期	t−1期	t期
実際の需要量(実績値)	90	30	60	30	90
移動平均法による需要予測量	30	50	50	60	40
指数平滑法による需要予測量	※	※	※	※	60

注　表中の※印は、値の記載を省略している。

〔解答群〕

ア　移動平均法によって計算すると、40個である。

イ　移動平均法によって計算すると、50個である。

ウ　移動平均法によって計算すると、66個である。

エ　指数平滑法によって計算すると、72個である。

オ　指数平滑法によって計算すると、84個である。

第35問

輸送手段の特徴に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　出発時間や到着時間を荷主の都合で指定したいときには、トラックの貸切運送よりも、特別積合せ運送を選択した方がよい。

イ　船舶による内航運送の契約に関する「標準内航運送約款」では、運賃には、特約がない限り、船積みと陸揚げに要する費用を含まないとしている。

ウ　鉄道コンテナ輸送における貨物列車1本(26両分)の最大積載量は、10tトラック26台の最大積載量と同じである。

エ　トラック輸送の契約に関する「標準貨物自動車運送約款」では、運賃には、積込みと取卸しに要する費用を含まないとしている。

オ　複合一貫輸送の推進には、発地から着地までトラックを一貫して利用し続けながら、貨物を組み替えていくことが必要である。

第36問

物流におけるユニットロードに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　通い容器は、繰返し用いることを目的としない容器である。

イ　平パレットを利用して貨物をトラックで輸送する場合、トラックの積載効率が低下することがある。

ウ　物流クレートは、商品を段ボールケースのまま積載して納品できるように使用される容器である。

エ　平面寸法1,100 mm × 1,100 mmの平パレット1段の最大積載数量は、ピンホイール積みの場合、平面寸法650 mm × 450 mmの貨物よりも、同600 mm × 500 mmの貨物の方が多い。

オ　ロールボックスパレットには、段ボールケースを積載することができない。

第37問

チェーン小売業の物流センターの機能に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　クロスドッキングは、出荷指示に基づいて、商品を庫内の保管場所から取り出し、取り揃えることである。

イ　小売業者の仕入条件が店頭渡しの場合、在庫型物流センターの在庫の所有権は小売業者にある。

ウ　通過型物流センターでは、温度管理が必要な低温商品を取り扱うことができない。

エ　店舗での発注から納品までのリードタイムは、在庫型物流センターよりも通過型物流センターを利用する方が短くしやすい。

オ　物流センターを利用すると、店舗に対する複数の納入業者からの納品を取りまとめることができ、店舗での荷受作業を軽減することができる。

第38問

物流センターの運営に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　ASN は、荷受側が納品を受けた後に荷送側に対して送信する受領明細である。

イ　固定ロケーション管理では、入庫の都度、空いている場所に商品を格納するため、同じ商品が異なる場所に所在する。

ウ　摘み取り方式ピッキングは、商品ごとのオーダー総数をまとめてピッキングすることである。

エ　物流センターにおけるトラック予約受付システムの導入の目的の１つは、運送事業者の積み込みや取り卸しの前にかかる手待ち時間を短縮することである。

オ　マテハン機器のうち、ソーターは保管用の機器であり、AGV は仕分用の機器である。

第39問

流通システム開発センターが発行している「GTIN 設定ガイドライン」に従って、新しい GTIN-13 を設定するべきものを全て選ぶとき、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　メーカー、ブランドオーナーの現在の商品ラインアップにない新しい商品

b　特定のイベントやシーズンに合わせて期間限定で包装を変更し、特に従来品と分けて受発注を行わない商品

c　商品の機能や成分が従来品と同じであるが、ブランド名やブランドロゴなどの変更によって、商品のブランドを変更した商品

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

ウ　b と c

エ　b のみ

オ　c のみ

第40問

近年、加工食品メーカーや原材料メーカーなど食品を取り扱う企業にとって、食品の安全・安心やトレーサビリティの確保はますます重要になっており、主に原材料メーカーと加工食品メーカー間で取引される原材料に、標準的な商品識別コードや、日付情報、ロット番号が表現されたバーコードを GS1 QR コードなどで表示して、企業間で活用することが推奨されている。

原材料の識別に必要な項目を設定し、GS1 アプリケーション識別子(AI)を利用してバーコードに表現する以下の記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　原材料に関する製造日の日付が 2024(令和 6)年 5 月 10 日であった場合、製造日を AI(11)により和暦で表現すると、(11)R060510 となる。

b　13 桁の GTIN-13 を AI(01)により表現する場合は、先頭に 1 つ 0 を追加して 14 桁とする。

c　原材料メーカーにて割り当てられた HHI1026 というロット番号を、AI(10)により表現する場合は、(10)HHI1026 となる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：誤　c：正

第41問

以下の支払手段のうち、資金決済に関する法律(資金決済法)が適用される前払式支払手段に該当するものの組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。ただし、有効期限がある場合は、発行の日から１年間使用できるものとする。

a　カタログギフト券
b　POSA カード
c　航空券
d　郵便切手

〔解答群〕

ア　a と b
イ　a と c
ウ　b と c
エ　b と d
オ　c と d

第42問

個人情報保護法における個人情報に当たるものとして、最も適切なものはどれか。

ア　企業の財務情報など、法人などの団体そのものに関する情報
イ　生存者の氏名
ウ　統計情報など、複数人の情報から共通要素に係る項目を抽出して同じ分類ごとに集計して得られる情報
エ　他の情報と容易に照合できない、カメラ画像から抽出した性別や年齢といった属性情報

第43問

RFM 分析は、ID-POS データから計算される 3 つの指標で顧客をグループ化する分析手法の 1 つである。この RFM がそれぞれ表しているものに関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　R は Recency の頭文字を表しており、顧客ごとの最近来店購買日を指標化したものである。

イ　R は Request の頭文字を表しており、顧客ごとの最も購買している商品の購買回数を指標化したものである。

ウ　F は Favor の頭文字を表しており、顧客ごとの人気商品購買数を指標化したものである。

エ　F は Festival の頭文字を表しており、顧客ごとの祝日の商品購買数を指標化したものである。

オ　M は Market の頭文字を表しており、市場の大きさを 1 年の全顧客の総購買金額によって指標化したものである。